

総合型スポーツクラブ新聞

スポーツ界への新しい風

総合型地域スポーツがめざす

総合型地域スポーツクラブとは？

総合型地域スポーツクラブは、次のような特徴があります。

- **地域住民主体**
地域住民の地域住民による地域住民のためのクラブです。
- **多様目**
1種目ではなく、多くの種目を楽しむことができます。
- **多世代**
世代を超えた住民の交流を一貫指導が実現します。
- **多志向**
自分の体力や技能・目的に合わせていろいろなレベルのスポーツにチャレンジできます。
- **多様な関わり**
スポーツを「する」「みる」「支える」「創る」さまざまなスポーツとの関わりを楽しむことができます。

これらの特徴は設立時からすべて満たされていないかもしれませんが、その実現に向けて進んでいかなければなりません。誰もが、気軽に、スポーツを楽しむ、生涯スポーツ社会の実現、それが「総合型地域スポーツクラブ」です。



いま、なぜ総合型地域スポーツクラブなのか？

2000年9月に文部科学省が策定した「スポーツ振興基本計画」の基本方針の1つに「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」があげられ、その目標として①国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。②その目標として、できるかぎり早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人(50パーセント)となることを目指す。としている。

しかしながら現在の単独クラブでは「種目」「技術レベル」「年齢」「世代」の変化により、自分の目的にあったクラブに活動の場を変更するにはかなりの労力を費やし、そのあげく「引退」する人が多数います。本来、スポーツには「引退」という言葉は無く一貫して活動できる場を提供できるシステムを構築することが先出の目標を実現する近道であります。そして現在、その1つの手段として「総合型地域スポーツクラブ」が注目を浴びています。

総合型地域スポーツクラブ Q&A

総合型地域スポーツクラブを創設する上で、最も重要なことは何でしょうか。

A1 我々が、地域に総合型スポーツクラブをつくるのか、まち、地域のみならず誰でも参加できるクラブを作ることによって、まち、地域をどうしたいのか、どうするのかについての理念を共有することが最も重要です。総合型地域スポーツクラブづくりの理念は、地域の実情に応じているような角度から考えられます。例えば、青少年の健全育成、世代間の交流、地域社会の再生、地域スポーツ文化の確立などの中からテーマを選び、しっかりと検討しましょう。地域住民の皆さんが身近で共感のできる理念を積極的に発信することにより、賛同の輪を広げていきましょう。理念のもとに集まった人たちがクラブ設立推進の核となるでしょう。

Q2 総合型地域スポーツクラブを育成していく上では、既存のスポーツ関係者、関係団体との調整が難しいと聞きますが、どうすればよいのでしょうか。

A2 地域には、体育協会、スポーツ少年団、種目別のスポーツ団体などの既存のスポーツ団体や、市区町村の非常勤職員としてスポーツに関わってきた体育指導委員がいます。これまで、こうした団体や人たちが地域のスポーツ振興の一端を担ってきました。



バモスはくい

Q3 総合型地域スポーツクラブを創設する上では、行政主導からいかに地域住民主導に移行していくかが難しいと聞きますが、どうすればよいのでしょうか。

A3 クラブ創設の仕掛けやきっかけづくりは、行政やスポーツ団体であっても、設立されたクラブを運営し、育てていく主体は地域の皆さんです。これからクラブを立ち上げようと計画している市区町村の行政担当者の皆さんは、このことを年頭におき、クラブ創設に向けてのキーパーソンとなる人材を発掘し、キーパーソンを中心としたクラブ設立の推進グループを形成していきましょう。これまでの取組の結果、クラブ創設に向けての推進の核となるグループができつつある市区町村行政の担当者の皆さんは、できる限りメンバーの意見を引き出すオプザーバー的な役割にまわり、推進グループの主体的な取組を引き出すように努めましょう。また、過度に行政に依存せず、主体性を持った設立準備委員会とするために、その事務局は行政組織の外に設置するように促しましょう。

Q4 総合型地域スポーツクラブと学校運動部活動との連携はどのようにすればよいのですか？

A4 総合型地域スポーツクラブができると、運動部活動はすべて地域に移行するという考えをもっている方もいます。しか

Q5 会員に受益者負担の意識を醸成するためにはどうすればよいのでしょうか。

A5 我が国のスポーツの発展経緯から、スポーツサービスは無料又は廉価で行政から提供されるものという意識を持っている人が多いのも事実です。ですから、クラブが会員である地域住民の会費により自主的に維持、運営されるものであるという基本認識が足りないようです。

クラブ創設期から会員は単なる参加者ではなく、自ら所属するクラブを運営する一員であるという意識を持ってもらう必要があります。つまり、会員はサービスの享受者であると同時に、提供者でもあるということを感じてもらわなければならないと思います。

そのためには、会員が自らクラブの運営に参加しているという意識を醸成していく必要があります。クラブ全体がどのように運営され、自分たちが支払った会費がどのような事業に活かされるのか、また、クラブの将来計画やそのための資金計画はどうなっているのか等、財務状況をわかりやすく説明し、会員一人一人に理解してもらいましょう。



ブラッツうちなだ

編集後記

昨年度に総合型クラブ新聞を3回発行しましたが、今号では、原点にもどり「総合型地域スポーツクラブとは」ということで記事を書きました。スポーツへの関わりは時代の変化や地域の環境により変わります。今後は試行錯誤を繰り返しながら歩んでいる総合型地域スポーツクラブの事例等も載せていきたいと思っています。